

## 地域ワーキング（鳴門地区）の実施方針について

## 【経緯】

平成 29 年 10 月発足の「吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」の下に、各事業実施地域で具体的な取組を検討・実施推進する「地域ワーキング」を設置した。

鳴門地区生息環境づくりワーキングの概要・目的は、旧吉野川での自然再生事業において創出する環境や管理・活用等について検討を進めることであり、地域・人づくりワーキングの概要・目的は、コウノトリの繁殖により注目を集める鳴門市における、魅力的な地域づくりや人材育成等の具体的な事業の推進や地域の課題について検討を進めることである。

年度	鳴門地区生息環境づくりワーキング	鳴門地区地域・人づくりワーキング
H30	<b>第 1 回ワーキング(2018 年 11 月 27 日)</b> ・自然再生事業で創出する環境について <b>第 2 回ワーキング(2019 年 3 月 19 日)</b> ・事業の目標について ・事業地のゾーン設定について	
R1	<b>第 3 回ワーキング(2019 年 11 月 5 日)</b> ・湿地ゾーン等の割合について ・活用の促進について <b>第 4 回ワーキング(2019 年 12 月 20 日)</b> ・協働による維持管理について ・事業実施計画（案）について	<b>第 1 回ワーキング(2019 年 9 月 30 日)</b> ・鳴門地区地域・人づくりワーキングの設置について等 <b>第 2 回ワーキング(2020 年 1 月 10 日)</b> ・「コウノトリれんこん教室」実施結果報告について等
R2	<b>第 5 回ワーキング(2020 年 12 月 14 日)</b> ・事業地の詳細設計について ・関連施設について <b>第 6 回ワーキング(2021 年 3 月 8 日)</b> ・事業地の詳細設計について ・事業地の利活用について	<b>第 3 回ワーキング(2020 年 9 月 4 日)</b> ・コウノトリ・ツル類を活かした観光におけるルール(案)について等 <b>第 4 回ワーキング(2020 年 12 月 14 日)</b> ・コウノトリ・ツル類を活かした観光におけるルール(案)について等
R3		<b>第 5 回ワーキング(2021 年 12 月 20 日)</b> ・案内者が利用するためのガイドブックの構成や利用想定について等 <b>第 6 回ワーキング(2022 年 3 月 17 日)</b> ・ガイドブック案について意見交換等
R4	<b>第 7 回ワーキング(2022 年 5 月 17 日)</b> ・事業地の詳細設計について ・事業地の利活用・管理について	<b>第 7 回ワーキング(2022 年 6 月 30 日)</b> ・ガイドブック完成に向けての意見交換等

R4	<b>第8回ワーキング(2023年1月10日)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者団体について</li> <li>・事業地の拡大について</li> <li>・都市公園指定について (Park・PFI)</li> </ul>	<b>第8回ワーキング(2023年1月10日)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発活動検討 (アオアヲ、イースト、徳大、基金等)</li> <li>・事業連携について (島田島、旧吉野川かわまちづくり 小松島市、阿南市)</li> </ul>
----	---	--

●**鳴門地区地域・人づくりワーキング 今後の取組み (予定)**

啓発活動により県内外へのコウノトリ保全は、一定程度認知されてきた。しかしながら、近隣地域でコウノトリ保全の取組みについてまだまだ知られていない。

今後とも、情報発信やコウノトリ関連商品の取組みを推進していく。

●**鳴門地区生息環境づくりワーキング 今後の取組み (予定)**

津慈地区の湿地が担う役割や、基本的な構造条件は整理されてきた。加えて、利用者を想定した場合の利便施設の抽出を行ってきた。

しかしながら、湿地の管理を行える主体者が未確定であることから、管理運営に関する具体の整備や施設管理手法を定めるに至っていない。

今後これらを確定させるため、「鳴門津慈地区管理運営ワーキング (仮称)」を新たに置き、湿地等の管理に関わるそれぞれの立場から、将来の管理運営手法と施設整備等を定める。